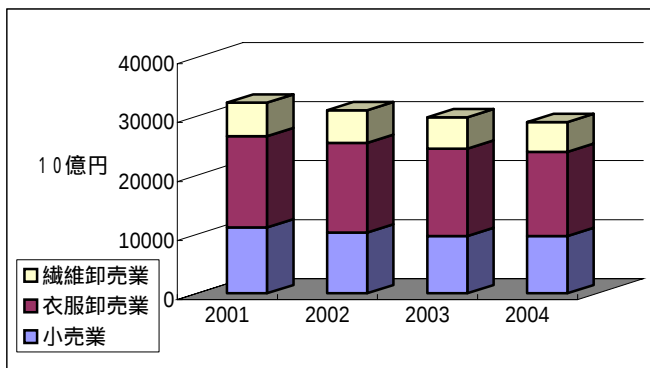


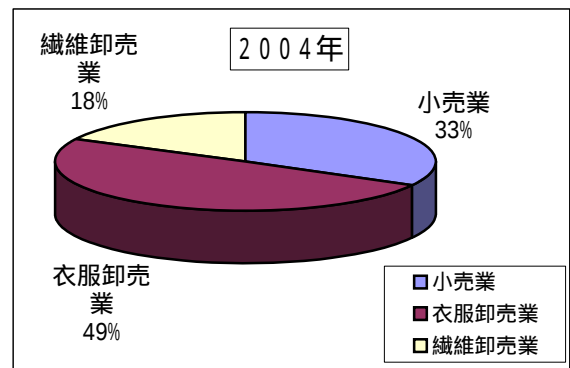
■ 読む統計 わが国繊維商業動態統計

目立つアパレルの肥大、小売を上回る

経済産業省の「商業動態統計」によると、わが国繊維の2004年の販売額合計は2兆8914億円。2001年の3兆3180億円と比較すると約10%の減少である。段階別では「繊維卸売業」(テキスタイルなど)が約10%減、「衣服・身の回り品卸売業」(アパレルなど)が約8%減、「織物・衣服・身の回り品小売業」が約14%減で、依然消費不況が継続していることを物語っている。



《商業動態統計—その1》



《商業動態統計—その2》

総販売額の段階別シェアは衣服卸売業・49%、小売業・33%、テキスタイル・18%で、中間段階の衣服卸売業が最終段階の小売業より販売額が多い。これは衣服卸売業の多段階流通を反映したもので、わが国繊維・ファッション業界の過剰供給体質を示している。テキスタイル対アパレルの売上規模は1対2.8で、提供された生地は縫製後約3倍で卸売されていることになる。

他産地は今、活路を求めて

「新風久留米絣」で洋装化

久留米絣の産地・福岡県広川町の広川町商工会と久留米絣協同組合は、県や国の支援を受け、久留米絣の新製品を開発し、拡販に乗り出す。12月上旬に東京ビッグサイトで開く「JC2006」の展示するほか、来春パリの展示会への出展も目指している。

同事業は「新風久留米絣、アピール縦・横構想」という3ヵ年計画で、新製品発表は同町内の13の久留米絣業者でファッション部会、ニット部会を結成し、外部デザイナー、町内にある2縫製メーカーの協力

でニューファブリック ストリート系とミセスラインの婦人服 セーター ニット用系の分野で進めてきた。各分野の試作品は9月中旬までに完成の予定。海外展への出展はジェトロの支援によるもので、10月初旬には出展審査を受ける。

なお、広川町の久留米絣は反物、製品を含めて出荷額は年間10億円強だが、3ヵ年計画の終わる2007年3月末までには共同で販売会社を作り、現在の倍の出荷高を予定している。(*「繊維研新聞」*)